

安中市子ども計画（案）に関するパブリックコメントの結果について

○意見等の募集期間：令和7年1月15日（水）～令和7年2月4日（火）

○意見等の受付件数：1人 11件

（提出方法の内訳：持参1人）

1. 意見等の概要及び市の考え方

番号	ご提出いただいた意見等の概要	市の考え方	修正の有無
1	【子ども・若者の自立に関する視点での課題】 P36で「育てる=家庭教育」、「教える=学校教育」、と記述しているが、その後「家庭・家族だから教えられること、学校だから学べること」、と記述され、育てると教えられる、教えるのと学べるが入れ替わっている。	「家庭教育」「学校教育」について触れていますが、『「家庭で教えられること」と「学校で教えられること」の役割を理解し、地域全体で連携することが重要』という内容ですが、ご指摘いただきましたとおり、不明瞭な表現となっておりますので、より分かりやすい表現に変更いたします。 貴重なご意見ありがとうございました。	有
2	【子ども・若者の自立に関する視点での課題】 P36で「生きる力」については説明があるが、「夢を実現する力」「豊かな心」に対する説明がない。	特に「生きる力」は社会的自立の基礎となるものと考えており、言及しておりました。 「夢を実現する力」「豊かな心」の関係性について加筆します。 なお「豊かな心」の詳細については、P.65の推進施策「豊かな心の育成」にて触れております。	有
3	【計画の基本的な考え方 第1節 基本理念】 P38で「社会」、「地域」、「地域社会」、「まち」、「環境」、「家庭環境」と、似た用語が多用されて、どこで誰が誰のために何を何のためにすべきかがわからない。	それぞれ違いがある用語として使用していますが、より意味が明確となるよう、修正いたします。 貴重なご意見ありがとうございました。	有
4	【第5章 計画の推進 第1節 計画の推進】 せっかくP38の基本理念で「地域で支え合い、」として、P100の本節1行目でも「社会のあらゆる分野における人々がそれぞれの役割を果たすことが重要です。」としているのに、なぜその後で「子ども・若者がお互いに助け合い、育ちあっていく」と、当事者に丸投げになってしまうのか。	「子ども・若者がお互いに助け合い、育ちあっていく」ために、「社会のあらゆる分野における人々が、それぞれの役割を果たすことが重要」であると、ご理解いただければと思います。現状では読み取りにくいので、修正いたします。 貴重なご意見ありがとうございました。	有

【問合せ】

安中市役所保健福祉部子ども課子ども育成係

電話：027-382-1111（内線1166）

Eメール：kodomo@city.annaka.lg.jp